

多様な武道等指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

<h3>剣道・空手道</h3> <p>武道の複数実践を通して、伝統的な考え方や所作等について深く学ぶ授業を展開する。</p>	<p>始良市立蒲生中学校（鹿児島県）</p> <p>電話番号 0995-52-0100</p> <p>メールアドレス kamoujh-koucho@po.synapse.ne.jp</p>
--	--

●実践研究のねらい

- 剣道・空手道に共通する礼法や伝統的な考え方，行動の仕方を理解する。
- 空手道についての基礎的知識や技能について学び，武道の広がりを経験する。
- 複数武道授業を通して，武道に対する興味・関心呼び起こし，東京オリンピックやかごしま国体への気運を高める。

●多様な武道の指導モデル 1学年（2学級52名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	
種目	剣道							空手道	
学習の流れ	導入（礼儀作法，本時の学習の見通し）							基礎的知識と技能	
	・オリエンテーション	・基本姿勢（自然体）	・竹立 ・刀礼の握り構えまでの動作	・学習の振り返り	・足さばき	・打突（正面、小手、胴）	・仕掛けの技 ・間合いの意味		・約束練習と簡易な試合
	まとめ（本時の振り返り，座礼）								

●指導の工夫

1 効果的に指導するための工夫

- 発達の段階を踏まえて，技の習得に努めさせ，剣道の特徴を深く学ぶ。
- 限られた時間の中で生徒が達成感を味わえるように外部指導者との連携を深める。

2 生徒の安全を確保するための工夫


- 学ぶ場の安全確認，生徒の当日の体調把握を確実にを行う。
- 外部指導者と安全な指導の在り方について確認し，実際の場では複数体制で観察に努める。

●授業の様子



【 剣道：対人的技能の学習 】

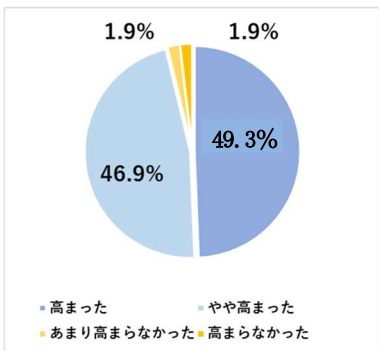
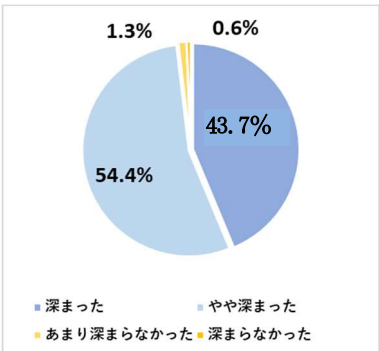
防具を身に付けての対人技能の学習の様子。対人で向き合う姿勢には互いを尊重し合う武道の礼儀を学ぶことができた。



【 空手道：突き形の学習 】

空手道の基本的動作である突きの学習の様子。専門性の高い外部指導者の指導は、生徒の学びの裾野を広げる機会となった。

●生徒の意識、感想、変容など

<p>1 2種目の武道を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。</p>	<p>2 2種目の武道を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。</p>	<p>3 生徒の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 剣道と空手道の学習を終えて礼儀という人として大切なことをいつもより深く感じることができた。 ○ 合気道をしているけれど、空手道や剣道と礼法が似ていて驚きました。 ○ 複数の武道で「礼に始まって礼に終わる」を意識できた。 ○ 空手道では、外部指導者の先生のお手本は（空を切る）音に迫力があり、力強さを感じた。
 <p>■ 高まった ■ やや高まった ■ あまり高まらなかった ■ 高まらなかった</p>	 <p>■ 深まった ■ やや深まった ■ あまり深まらなかった ■ 深まらなかった</p>	

●成果と課題

- 剣道を7時間実施した後で、武道の複数体験の場を設定するところから空手道を1時間実施した。空手道では、歴史的なことも含め基礎的知識と技能に特化して授業を行った。立礼や座礼、語先後礼の姿勢などは本校では日常的に取り組んでいることであったが、日頃の学校生活を振り返る機会にもなった上に、武道を通した礼儀作法について深く学ぶことができた。
- 生徒の中には、弓道、柔道、合気道などを部活動や地域クラブで学んでいる者がいる。そうした生徒らにとってはより多くの武道を学べる機会にもなった。生徒のアンケートを見ても、多くの生徒が、「武道への関心が高まった」「伝統的な考え方や行動への理解の仕方が深まった」と回答しており、今回の授業設定は成果があったものと考えている。
- 武道の学習は、必修ではあるものの、その具体をどのように組んでいくかは課題である。外部指導者の活用、複数体験など、一過性のものになりかねないため、意図的計画的な設定を考えたい。